

科目名		映像リテラシー B 2							年度	2024	
英語科目名		Image Literacy B2							学期	後期	
学科・学年		放送芸術科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		根岸史人		教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】											
将来放送業界に進む学生に、TV放送における音声業務の役割を理解してもらう。 最低限の音声技術に関する知識を身に付けてもらい、番組制作の過程で音に関することの準備・対応が出来るようになってもらい、音の視点から業界全体の事を学び、自身の進む分野へ活かしてもらう。											
【科目の概要】											
TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。											
【到達目標】											
放送業界へ進むにあたり、最低限の音声技術に関する基礎知識を身につけ、番組制作の過程で音に関することの準備・考えることができるようになることが目標である。音の分野の視点から、業界全体のことを学び、自身の進む分野への活用方法を見出す。											
【授業の注意点】											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A		映像に関わる音の職種の違いを理解していて、音の三要素について説明ができ、簡単なデシベル計算ができる		映像に関わる音の職種の違いを理解していて、音の三要素についても説明ができる		映像に関わる音の職種について理解できていない					
到達目標 B		マイクروفォンの指向性、ダイナミック・コンデンサの違い、近接効果について理解している		マイクروفォンの指向性理解しており、ダイナミック・コンデンサの違いがわかる		マイクروفォンの指向性を理解していない					
到達目標 C		マイクレベルとラインレベルの違いを理解し、HAの役割を説明できる		マイクレベルとラインレベルの違いを理解している		マイクレベルとラインレベルの違いを理解していない					
到達目標 D		タイムコード、納品フォーマットを理解し、MAのワークフローが説明できる		MAのワークフローが説明できる		ポストプロダクションにおけるMAの役割を理解していない					
到達目標 E		音声調整卓を理解し、エフェクタなどの機材に関しても把握しており、アナログ、デジタルの違いを説明できる		音声調整卓の役割を理解し、エフェクタなどの機材に関しても把握している。		音声調整卓の役割について理解をしていない。					
【教科書】											
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		映像リテラシーB 2				年度	2024
英語表記		Image Literacy B2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	TV音声スタッフの役割と仕事内容	映像業界における、音に関わるスタッフの業務内容を理解する。	1	オリエンテーション	音の基礎知識を学ぶ意味を理解する	1	
			2	職種について	職種を理解し、それぞれの役割を理解している		
2	音の基礎知識 (音の三要素とデシベル)	音とは何か？を知る。	1	音の三要素	音の三要素とは何かを理解している	1	
			2	周波数	周波数とはどのようなものかを理解している		
			3	デシベル	デシベルという単位を理解している		
3	マイクroフォンについて①	音を収音するためのマイクの特性を理解する	1	マイクの駆動原理	マイクroフォンの駆動原理について理解している	1	
			2	ダイナミック・コンデンサーとは	ダイナミックマイクとコンデンサーマイクの違いを理解している		
			3	マイクの指向性	指向性の種類、違いを理解している		
4	マイクroフォンについて②	映像業界で一般的に使用されているマイクを覚える	1	近接効果	近接効果を理解している	1	
			2	マイクの種類紹介	マイクの種類、それぞれの特性を理解している		
			3	バウンダリーマイク	バウンダリーマイクとはどのようなものか理解している		
5	マイクレベルとラインレベルとは？	電気信号としての音の大きさを理解する	1	HA（ヘッドアンプとは）	HAが何かを理解している	1	
			2	マイクレベルとラインレベル	マイクレベルとラインレベルについて理解している		
			3	音の心理効果	音の心理効果について理解している		
6	音の信号伝送	音の伝送方式を理解する	1	アンバランス伝送	アンバランス伝送について理解している	1	
			2	バランス伝送	バランス伝送について理解している		
			3	位相について	位相について理解している		
7	各種コネクタと使用機器について	各種コネクタ、使用機器を覚える	1	各種コネクタ	各種コネクタの使用用途を理解している	1	
			2	音声信号のメーター機器	各種音声信号メーターを理解している		
			3	ラウドネス	ラウドネスメーターの役割を理解している		
8	オーケストラ編成から読み解く楽器の基礎知識	音楽的視点から音を理解する	1	楽器の略式記号	楽器の略式記号を理解している	1	
			2	オーケストラの配置	オーケストラの一般的な配置を理解している		
			3	楽器の音を理解する	楽器の音を聞き、どの楽器かを理解している		
9	音声用語（技術・演出用語）	番組演出に必要な技術用語・演出用語を理解する	1	フェーダー操作	フェーダー操作について理解している	1	
			2	技術用語	音に関わる技術用語について理解している		
			3	モノラル・ステレオ・サラウンド	モノラル・ステレオ・サラウンドの違いを理解している		
10	MAの基礎知識	MAのワークフロー、必要性について理解する	1	MAの目的	MAの目的を理解している	1	
			2	MAワークフロー	MAのワークフローを理解している		
			3	音響効果	MAでの音楽・効果音の挿入の演出について理解している		
11	ポストプロダクションにおけるタイムコードの基礎知識	タイムコードと納品フォーマットを理解する	1	タイムコード	タイムコードについて理解している	1	
			2	納品フォーマット	各種納品フォーマットについて理解をしている		
12	音声信号のデジタルとアナログについて	音のアナログとデジタルを理解する	1	アナログとデジタルの違い	音のアナログとデジタルの違いを理解している	1	
			2	A/D, D/A変換	A/D, D/A変換を理解している		
			3	デジタル信号の変換	デジタル信号への変換方法を理解している		
13	音声調整卓の基本的役割	音声調整卓の役割を理解する	1	アナログコンソール	アナログコンソールについて理解している	1	
			2	デジタルコンソール	デジタルコンソールについて理解している		
			3	収録チャンネルに関して	音声収録のch分けについて理解している		
14	音声卓の付帯機器外部接続機器の役割	エフェクターについて理解する	1	EQ	イコライザーについて理解している	1	
			2	Comp	コンプレッサーについて理解している		
			3	リバーブ	リバーブについて理解している		
15	総復習	学んだ内容を復習し、理解を深める	1	各回のポイント資料を	音声基礎の授業内容を理解している	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等